

2024 年 12 月 1 日

合格者の皆さんへ

文教大学文学部英米語英米文学科

このたびは、英米語英米文学科に合格おめでとうございます。

文教大学では大学入学前 みなさんに宿題を出すことで、スムーズな大学生活のスタートをサポートしています。

本学科は以下の 2 つの課題を用意しています。次ページの「課題提出要領」をよく読んで、それぞれの課題に取り組んでください。締切は 2025 年 3 月 14 日（金）です。

課題

1. 「スーパー英語」を利用し、英語の自主学習をする。
2. 小論文を書く。

英米語英米文学科の教員一同、来年 4 月に皆さんにお会いするのを楽しみにしております。

英米語英米文学科 課題提出要領

■課題内容

1. 英語学習教材「スーパー英語」

- (1) 別紙の説明を参照してログインする。
- (2) Selected Training（課題）を全て解く。
- (3) TOEIC mini テストを受験する。

＊ 学習状況はシステムで確認します。完了報告などは必要ありません。

2. 小論文

- (1) 別紙の小論文の問題を解く。
- (2) パソコンのワープロソフト（Word など）を使用して、解答を A4 サイズ 1～2 枚にまとめる。氏名を明記すること。
- (3) Word または PDF ファイルを E メールに添付して提出する。
- (4) 引用をする場合には出典を明記する。出典を示さないウェブからのコピー＆ペーストは禁止。
- (5) 生成 AI を使用した場合は、そのことを明記する。

■締切

2025 年 3 月 14 日（金）

■連絡先

文教大学文学部英米語英米文学科 ejjun@bunkyo.ac.jp

- ＊ 課題について質問がある場合や小論文の解答は、上記アドレスに送って下さい。
- ＊ 解答を送る際のタイトルは「入学前課題提出」として、氏名や受験番号を明記して下さい。

推薦入試合格者の皆さんへ
文教大学文学部 英米語英米文学科 専任教員よりメッセージ



秋山朝康（専門：英語教育）

推薦入試合格おめでとうございます。私は英文科の中で「英語教育」を担当しています。皆さんの中には英語教員を目指して本学科を受験された方も多いと思います。自分の夢が英語教師になることだとすれば、その夢の実現のためにまずは英語の力をさらにアップしてください。その夢を実現するために、入学までの約5ヶ月間を有効に使って、自分の英語の聞く・話す・読む・書く力を少しでも伸ばすために努力してください。希望に溢れる皆さんにお会いできるのを楽しみにしています。

芦田川祐子（専門：英米文学、児童文学）

私たちは日々、さまざまな選択を重ねて生きています。皆さんは英文科を選び、英文科は皆さんを選びました。どのような大学生活を送るかは皆さん次第です。そしてそれには、今から入学までの期間をどのように過ごすかということも関わっています。将来、文教大学の英文科に入ってよかったと思えるように、その場その場でやるべきことやできることを選んで、確実にしていきましょう。4月に元気にお会いできるのを楽しみにしています。



池内有為（専門：図書館情報学）

合格おめでとうございます。図書館＝本の倉庫というイメージをお持ちの方も多いかと思いますが、文教大学の図書館は、課題やレポートの手助けをする「レファレンスサービス」にも力を入れています。本や雑誌、新聞、ウェブサイトなど、膨大な情報の中からテーマに合うものを探し、内容を理解し、手際よくまとめるにはコツが必要です。ぜひ図書館を活用して、効率よく学習を進めて下さい。また、大学図書館には専門書だけではなく、多読用の電子書籍、娯楽用の本やDVD、雑誌などもありますので、大いに活用しましょう。

伊藤隆（専門：第二言語習得研究）

入学前の皆さんには気が早いと思われるかも知れませんが、大学4年間はあっという間に過ぎ去ってしまい、そして2度と戻ってくることはありません。「どのように英語の力を磨いてゆくのか」「留学するのか」「どの資格をとるのか」「どんなアルバイトをするのか」など、たとえ漠然とでも入学前に考えておいた方が良いことはたくさんあります。有意義な日々を築けるように、一緒に頑張りましょう。



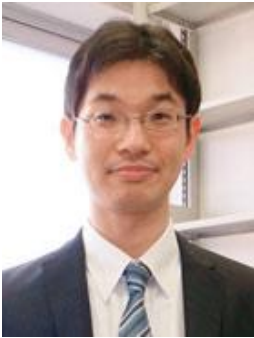
Zorana Vasiljevic（専門：第二言語の習得、語彙論）

Congratulations and Welcome to Bunkyo! The University is about gaining new experiences and opportunity. I hope that the next four years will be a rewarding experience for you. Remember that you – and only you – are responsible for your academic success. Stay on top of your studies and be serious about them from day one. I look forward to meeting you and working together.



森本奈理（専門：アメリカ文学・文化、翻訳）

合格おめでとうございます。4月にみなさんに会えることをとても楽しみにしています。私自身は「作家になりたい」という目標しか持たずに大学に進学したため、大学の教育的な雰囲気になじめないまま、ここまで来てしまいました。なので、みなさんには「まともな目標を持って大学に入学しましょう」とアドバイスしたいのですが、むしろ、目標を見出せずに苦しむ学生と文学的な場を共有することに私は「教師としての生き甲斐」を感じています。そういうことが許される場（文学部？）が私は大好きです。



渡辺敦子（専門：英語教育）

推薦入学合格おめでとうございます。4月に皆さんにお目にかかるのをとても楽しみにしております。大学入学後は勉学、新しい環境に慣れる事で忙しくなります。今から入学までの間、今までやりたかったことをする。読みたかった本を読んだり、行きたかった場所に行ったりして自分の世界を広げる機会とするのもよいでしょう。それと同時に身に付けた勉強の習慣も忘れないようにしてくださいね。



野村忠央（専門：英語学）

今、みなさんは期待と不安が入り混じっていると思います。その緊張感を4年間、持ち続けて欲しいと思います。「初心忘るべからず」です。大学という場は何事も「知的好奇心」を持って臨むことが肝要です。つまり、いつも受身の姿勢で臨むのではなく、自分から疑問点やテーマを設定し、その答を自分で探り出そうとする、そういう積極性が必要とされる場所です。そして、学業、アルバイト、サークル活動、何にせよ、自分で「目的意識」を持って大学生活を過ごすこと。それが充実した大学生活に結び付きます。頑張ってください。



小泉朝子（専門：イギリス文学・文化、比較文学（日英））

合格おめでとうございます。いよいよ大学生ですね。4月からの大学生活は予想以上にいそがしいものになるかもしれません。そんな皆さんにぜひ実践してほしいこと、それは「夢中になれるものを見つけて、取り組む」ことです。学業に夢中になってもらうのが教員にとっては一番嬉しいことですが、趣味やサークル活動でももちろん構いません。時間を忘れるくらい熱中して何かに取り組んだという経験は、皆さんの将来を豊かにします。ぜひそんな何かを見つけ、有意義な大学生活を送ってください。



スーパー英語の利用方法

利用開始日：合格発表日から 1 週間後

利用には、ログイン ID、パスワードが必要です。対象者に対しインターネット出願のマイページにてお知らせいたしますので確認してください。

Step1 利用開始日になったら、PC・タブレット等から以下の URL にアクセスする

※URL をクリックするか、コピーしてブラウザのアドレスバー、または検索エンジンに貼り付けてアクセスしてください。

※お気に入り、ブックマーク等に登録することを推奨します

スーパー英語

URL : <https://campus.bunkyo.ac.jp/entrance/supereigo.html>

QR コード :



Step2 「スーパー英語ログイン」のページが開いたら、「**学生ログイン**」を選択する

スーパー英語ログインページ

学生・教員の皆さんはこちら

単語 文法

リーディング リスニング

学生ログイン

教員ログイン

Step3 ログイン ID、パスワードを入力、「**その他**」を選択してログインする

文教大学

ログインID

ログインID

パスワード

パスワード

☐ 本学ユーザー ☒ **その他**

ログイン

ログイン ID：パスワードについては受験時のマイページにてご案内します

Step4 各学科・専修が指定する課題内容に取り組む

操作ガイド：動作環境等については、以下の URL から確認できます。

URL : https://www.supereigo.com/academic3/images/student_manual/onlinemanual.pdf

QR コード :



以下の文章を読んで、後の二つの設問に答えなさい。

知り合いの青年に「本は読まないの？」と尋ねたら「ほむらはダンスしないんですか？」と聞き返されたことがあります。読書は人生の必修科目でダンスは選択科目、というのはもう古い感覚らしい。

飲み会注における「とりあえずビールで乾杯」やライフイベントとしての結婚が必修科目ではなくなったように、すべてが自由意思による選択科目という世界では、読書だけが特別ということもなくなるだろう。

そう思いながらも、「読書は楽器やスポーツと同じように趣味の範囲であり、読んでも読まなくても構わないのではないか」と改めて問われると、「賛成です」と答えることに不安と躊躇いを覚えます。

それはどうしてなのか、考えてみました。一つ思い当たったのは、読書という行為は言葉と密接に関わっている、ということです。

読書が「楽器やスポーツと同じように趣味の範囲」というのは、^{ある}或いはその通りなのかもしれません。「楽器」がなくても「スポーツ」がなくても、そして読書がなくても、生きてゆくことはできる。その意味では確かにいずれも「趣味の範囲」と云えそうです。

■生きてゆけるが

でも、言葉そのものはどうなんだろう。それも「趣味の範囲」なのか。いや、他者とのコミュニケーションに必要というだけではなくて、誰にも会わず一言も話さない日でも、私たちは心の中で無意識に言葉を使っています。それなくして生きることはできない、と思えるほどに。

映画などで、親から出生の秘密（「実はお前は私が^{なか}お腹を痛めた子じゃないの」とか「お前たちは本当は血を分けた兄妹なんだ」とか）を告げられた主人公がショックを受ける、というシーンを見ることがあります。

それまで信じていた世界が親の言葉によって覆ったのです。いや、正確にいうと覆ったのは世界ではない。^{なぜ}何故なら、親が子供に出生の事実を語る前と後で血の^{つな}繋がりやDNAが変化したわけではないから。その意味では、物理次元の世界は何一つ変わってはいない。つまり、親の言葉で覆ったのは世界そのものではなく、主人公の心の中の世界像ということになります。

■内なる言葉の塊

ならば、私たちが一つの共通の世界に生きているというのは実は錯覚で、本当は一人一人の内なる世界像を生きているに過ぎないんじゃないか。そして、どうやら言葉はそのことに深く関わっているらしい。

私がイメージしたのは蜘蛛と糸と巣の関係です。蜘蛛が自分の糸だけで編んだ巣の上で生きるように、我々も普段は意識しないけど、自らの内なる言葉（糸）が作り出した世界像（巣）の上で生きているんじゃないか。つまり、人間は言葉の介在無しに世界そのものを直に生きることはできないんじゃないか、と。

逆に云えば、言葉によって世界像は書き換えられることになる。エスカレーターに立っている時、その横をガンガンと大きな足音を立てて降りてゆく女性がいます。その度に苛々していたら、或る時、知人に「サンダルの構造上あなっちゃう、カスタネットガールという種族なんです」と教えられました。すると、不思議なことに、彼女たちに出会っても「あ、カスタネットガール」と、むしろ面白く感じるようになりました。私が忍耐強くなったわけではなく、一つの言葉を知ったことによって世界像が変化したのです。

この例からも分かるように、読書という行為だけが内なる言葉を養うわけではない。でも、本が言葉の、すなわち他者の世界像の塊であることもまた確かです。私が読書に特別な意味を見出したくなるのはそのためではないか、と考えました。

（穂村弘「(ひもとく) 番外編 読書は必要？ あなたの『世界』を変えるかも」

【朝日新聞】2017年4月16日、p.9）

注 グループで集まって酒を飲む会。「飲み会」で飲酒する人は、一杯目にビールを注文することが慣例だった。

【設問Ⅰ】

読書が必要だと筆者が考える理由を、200字程度でまとめなさい。

【設問Ⅱ】

自分の人生において読書は必要なものか、それとも必ずしも必要ではないものかを、まず書きなさい。そして、そのように自分が考える理由を2つ挙げ、合計600字程度で説明しなさい。ただし、読書が必要なものだと考える場合には、本文の筆者とは異なる理由を書きなさい。